

1.計画名称

林業振興ビジョン

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、会議やみどりの少年団活動が一部実施できなかった部分や一部遅れが生じた事業もあるが、森林整備については目標数値に向け実施できている。推進部会で意見等いただきながら目標達成に向け事業推進をしている。
今後の重点化施策番号	1	説明	多様な森林整備及び環境保全の推進のため、森林環境譲与税や県の森林税を活用し事業を進めている。特に未整備となっている個人所有の森林整備については意向調査を計画的に進め森林環境譲与税の活用による整備を推進する。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多様な森林整備及び環境保全の推進	おおむね順調	里山整備を推進するために、協議会を設立し永明寺山ふれあいの森協議会に加え、小泉山、ピーナライン、東急・鹿山の協議会が事業主体となり、間伐や支障木伐採の里山整備が実施できた。引き続き要望箇所の里山整備を実施していく。	森林整備の未整備箇所がまだまだ多くあるため、森林環境譲与税を活用した、森林経営管理制度の手法を利用し、森林に対する意向調査を実施し、森林整備への住民理解を得られるよう、説明会等を実施していく。いき制度の周知が必要となる。	森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に取組み、未整備となっている個人所有の整備を実施することで更なる森林整備を推進する。意向調査を計画的に実施し森林整備へ繋げていく。
2	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人団体との共催で、間伐により発生した木材を活用した薪割(玉切り)講習会。 ・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(5台を補助) ・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用(鹿山地区もりぐらし) 	<p>市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。</p> <p>・主に切り捨て間伐材により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。</p>	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。
3	森林づくりを支えるための教育活動	やや遅れている	昨年実施されていた、みどりの少年活動が新型コロナの影響を受け実施できなかったが、永明寺山学有林活動として、永明小学校の児童による森林作業等が行われ、活動を通して森林の学びの取組となった。	交流会や作業を通じ、林業や森林に対する意識改革へどのように繋げていくかが課題	引続きみどりの少年団活動を中心に、山や緑を育む催しへの積極的な参加の呼びかけと新企画の検討。
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	林業振興ビジョン推進部会	間伐材の未利用材をいかに活用できるかは、材の運搬等が課題となる。市内だけを考えず諏訪管内全体として考え、間伐材の価格変動等についても情報を知ること、取り組み方法が研究できると思う。	間伐材の量・使い道・施業や運搬コスト等を総合的に見て実際どのような間伐材の利用ができるのか、先進事例を参考にしながら調査等を検討していきたい。
開催回数	1		
参加延べ人数	13		
関連市民団体等名称	茅野市産業振興ビジョン推進委員会		
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5.添付資料

別紙「施策評価シート」